社民党

JJ1SXA/池

所属国会議員 4 人のうち、福島瑞穂党首を除く 3 人が離党、お笑いタレント「劇団ひとり」では無く、「政党ひとり」になった「社民党」、前身は「社会党」だ、此の党のやってきたことからすれば「政党ひとり」でも生き残れるところが日本の良いところなのか、おかしなところなのか、私は、こんな党があることに違和感を感じずる。

村山富市元首相が「党が分かれて小さくなることは残念でならない」と言っているが、とんでもない、村山富市元首相は土井たか子元党首らとともに、北朝鮮の拉致実行犯、辛光洙元死刑囚の助命・釈放嘆願書に署名した「極めてまぬけな議員」(官房副長官当時の安倍晋三前首相の発言)だ。

平成 7 年の阪神淡路大震災の時、アメリカは空母インディペンデンスを神戸沖に派遣しようとしたが、当時の村山富市首相が断った、これが救助救援活動を遅らせた、革新系の神戸市長も自衛隊に災害派遣要請をためらい、救助救援活動を遅らせている、被害の拡大は計り知れない、総理大臣および市長の人命に関わる犯罪であるとも言えるのでは無いか？

社民党は社会党時代から、朝鮮労働党の友党だと誇ってきた、土井氏は、拉致被害者家族の協力要請には知らん顔を決め込んだし、「北朝鮮には補償も何もしていないのだから、9人、10人返せとばかり言っても、フェアじゃない」と発言したのは、現在は立憲民主党副代表の辻元清美氏が社民党政審会長時代のことだ。

拉致はテロであり国家主権侵害であり、同胞を痛め傷つけてきた人権問題である、ここにかくも鈍感な政党が、沈む船からネズミが逃げるように離党者が続出したにもかかわらず、存続している方が奇異だ。

今一つ、本当に呆れる、社民党の本質が分る例がある。

有事法制に関する、福島瑞穂氏と田原総一郎氏の対談(抜粋)

…前略…

田原氏:敵が攻めて来た時にね、国民の人権の自由とかでどこ動いて行っても良い、とはならないし、そりゃ規制もしますよ

解説者:福島さん、万が一攻められた時に、社民党は国民をどうやって守るのか。どうするんですか？

福島氏:例えば…非核構想をやるとか

田原氏:敵が攻めて来るなんて事はありません。そんな夢みみたいな事を自民党は言っ
て日本を軍国主義化してると、こういう事？

福島氏:そうですね、北朝鮮などを仮想敵国にしながら、どんどん軍事国家の道歩
んでいると思います

田原氏:北朝鮮と仲良くするんだって？

福島氏:そうです。そういう努力が必要だと

…後略…

それでも、支援する人達がいる、だが、私は絶対こんな党は無くなってもらいたいと思う、同感の人もいるのでは無いか？